

元鹿部消防署長の伊藤さんが瑞宝双光章

第42回危険業務従事者叙勲

第42回危険業務従事者叙勲において、元南渡島消防事務組合鹿部消防署長の伊藤政明さんが消防功労により瑞宝双光章を受章しました。

瑞宝双光章は、著しく危険性の高い業務に精励した方のうち、国家または公共に対する顕著な功績を挙げた方に授与されるものです。伊藤さんは昭和52年4月に渡島東部消防事務組合に奉職し、南渡島消防事務組合を退職された令和3年3月までの約44年間（鹿部消防署長歴7年）消防業務に従事され、危険業務に尽力した功績が認められ、今回の受章となりました。

6月3日には、役場応接室で伝達式が執り行われ、盛田町長から勲記、勲章が伝達され、町からお祝い金が贈呈されました。

このたびの受章、誠にありがとうございます。



豊かな心、思いやりの心育む

令和6年度「人権の花運動」

令和6年度「人権の花運動」が6月7日、鹿部小学校で行われました。

この運動は、協力して花を育てる体験を通して、命の大切さを実感し、豊かな心と相手に対する思いやりの心を育む目的で実施しています。

今年は、小学1・2年生の児童たちが参加。人権擁護委員の滝野委員から人権に関する詩を聴いた後、色とりどりの花の苗を一生懸命植えました。

今後は元気に育つことを願い、水やりなどの活動に取り組んでいきます。

駒ヶ岳の活動、噴火と災害学ぶ

火山防災講演会に87人参加

北海道駒ヶ岳の最近の活動報告と噴火と災害についての火山防災講演会が6月8日、役場会議室で開かれました。

当日は、87名が来場し、山梨県富士山科学研究所研究管理幹の吉本充宏氏と札幌管区気象台火山対策調整官の谷口正実氏が講演。終了後は参加者からの質問もあり、活発な講演会となりました。

1階多目的スペースでは、気象台の火山パネル展や防災食と資機材の展示も行いました。

